



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4420 URL <https://www.esol.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏  
問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	3,107	39.0	461	—	467	—	377	879.9
2023年12月期第1四半期	2,235	2.7	△31	—	△24	—	38	—

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 340百万円 (422.4%) 2023年12月期第1四半期 65百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	18.52	—
2023年12月期第1四半期	1.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	7,893	5,920	75.0
2023年12月期	7,635	5,661	74.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 5,920百万円 2023年12月期 5,661百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	1.50	—	4.00	5.50
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	1.50	—	4.00	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,095	30.6	820	—	831	692.5	651	798.6	31.95
通期	12,099	25.7	988	—	1,006	—	773	465.9	37.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	21,460,800株	2023年12月期	21,460,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	1,063,577株	2023年12月期	1,063,577株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	20,397,223株	2023年12月期 1 Q	20,384,770株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動は正常化が徐々に進み、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、地政学的リスクの長期化や急激な為替の変動、原材料等の価格の上昇等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの組込みソフトウェア事業の主要取引市場である自動車市場では、CASE（Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化）をはじめ、Mobility as a Service（モビリティ・アズ・ア・サービス）という言葉も現れており、自動車が単なる移動手段ではなく、社会インフラの一部に変わりつつある中で、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車市場をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、当社製品に対する研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対し、車載プリンタ並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,107百万円（前年同期比39.0%増）、研究開発への投資を行い、営業利益461百万円（前年同期は営業損失31百万円）、経常利益467百万円（前年同期は経常損失24百万円）、繰延税金負債の減少により法人税等調整額が△25百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益377百万円（前年同期比879.9%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）の開発・販売、受託開発を主に行っております。その結果、売上高2,987百万円（前年同期比42.1%増）、研究開発への投資を行い、セグメント利益472百万円（前年同期はセグメント損失49百万円）となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は926百万円（前年同期比190.4%増）、エンジニアリングサービス等は2,061百万円（同15.5%増）となっております。

#### (センシングソリューション事業)

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを推進いたしました。その結果、売上高134百万円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益0百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,207百万円となり、前連結会計年度末に比べて302百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が305百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,685百万円となり、前連結会計年度末に比べて44百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が56百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,893百万円となり、前連結会計年度末に比べて257百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,563百万円となり、前連結会計年度末に比べて17百万円増加いたしました。これは主にその他の流動負債が250百万円減少した一方、賞与引当金が180百万円、未払法人税等が70百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は409百万円となり、前連結会計年度末に比べて19百万円減少いたしました。これは主に持分法適用に伴う負債が12百万円増加した一方、繰延税金負債が39百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,972百万円となり、前連結会計年度末に比べて1百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,920百万円となり、前連結会計年度末に比べて259百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が296百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,500,193	3,463,373
受取手形、売掛金及び契約資産	1,942,823	2,248,733
商品及び製品	166,532	161,172
仕掛品	88,157	68,298
その他	207,946	266,199
流動資産合計	5,905,653	6,207,777
固定資産		
有形固定資産	240,630	251,753
無形固定資産	121,625	117,514
投資その他の資産		
投資有価証券	1,117,721	1,061,210
その他	250,219	255,113
投資その他の資産合計	1,367,941	1,316,323
固定資産合計	1,730,197	1,685,591
資産合計	7,635,850	7,893,368
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,281	499,981
未払法人税等	51,776	122,483
賞与引当金	59,968	240,712
その他	950,764	700,267
流動負債合計	1,545,791	1,563,443
固定負債		
繰延税金負債	39,419	—
資産除去債務	122,393	130,000
持分法適用に伴う負債	168,592	181,112
その他	98,129	98,129
固定負債合計	428,533	409,242
負債合計	1,974,325	1,972,685
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	986,311	986,311
利益剰余金	3,255,154	3,551,418
自己株式	△81,113	△81,113
株主資本合計	5,202,171	5,498,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451,294	412,086
為替換算調整勘定	8,059	10,160
その他の包括利益累計額合計	459,353	422,247
純資産合計	5,661,525	5,920,682
負債純資産合計	7,635,850	7,893,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,235,188	3,107,732
売上原価	1,434,677	1,804,006
売上総利益	800,511	1,303,726
販売費及び一般管理費	831,743	842,521
営業利益又は営業損失(△)	△31,232	461,204
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	—	42
助成金収入	4,534	4,252
設備賃貸料	1,715	1,915
その他	916	697
営業外収益合計	7,181	6,921
営業外費用		
為替差損	—	650
その他	—	1
営業外費用合計	—	651
経常利益又は経常損失(△)	△24,050	467,474
特別損失		
固定資産除却損	—	4,156
特別損失合計	—	4,156
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,050	463,317
法人税、住民税及び事業税	16,601	110,662
法人税等調整額	△79,211	△25,197
法人税等合計	△62,609	85,464
四半期純利益	38,559	377,852
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,559	377,852

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	38,559	377,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,338	△39,207
為替換算調整勘定	1,335	2,101
その他の包括利益合計	26,673	△37,106
四半期包括利益	65,232	340,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,232	340,746



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	2,100,116	115,119	2,215,235
ソフトウェア製商品	319,071	—	319,071
ハードウェア製商品	—	115,119	115,119
エンジニアリングサービス	1,781,045	—	1,781,045
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,100,116	115,119	2,215,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,980	—	2,980
計	2,103,097	115,119	2,218,216
セグメント損失	△49,485	△1,699	△51,185

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	2,218,216
セグメント間取引消去	△2,980
未実現利益の調整額	19,953
四半期連結損益計算書の売上高	2,235,188

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△51,185
未実現利益の調整額	19,953
四半期連結損益計算書の営業損失	△31,232

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	2,985,742	134,510	3,120,252
ソフトウェア製商品	926,554	—	926,554
ハードウェア製商品	—	134,510	134,510
エンジニアリングサービス	2,059,187	—	2,059,187
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,985,742	134,510	3,120,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,982	—	1,982
計	2,987,724	134,510	3,122,235
セグメント利益	472,948	775	473,724

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	3,122,235
セグメント間取引消去	△1,982
未実現利益の調整額	△12,520
四半期連結損益計算書の売上高	3,107,732

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	473,724
未実現利益の調整額	△12,520
四半期連結損益計算書の営業利益	461,204

(重要な後発事象)

(持分法適用関連会社株式の譲渡による連結範囲の変更)

当社は、2023年11月30日に、株式会社デンソー（以下、デンソー社）との間で締結した株式譲渡契約書に基づき、2024年4月1日付けで、当社の持分法適用関連会社である株式会社オーバス（以下、オーバス社）株式の全てを譲渡いたしました。これに伴い、オーバス社は当社の持分法適用関連会社から除外されました。

1. 本件譲渡の理由

当社は、2016年4月、デンソー社と日本電気通信システム株式会社の3社で車載基盤ソフトウェアの開発及び販売を行うことを目的とした合弁会社、オーバス社を設立いたしました。

今般、デンソー社から同社によるオーバス社の完全子会社化と吸収合併の意向があり、それに応じることとし、当該株式を譲渡することを決定いたしました。2016年4月に締結した株主間契約は、本件譲渡が完了した時点で終了しますが、デンソー社によるオーバス社の吸収合併後も、現在、当社がオーバス社に提供しているソフトウェアの受託開発などはデンソー社へ提供し、さらに、オーバス社が行っている顧客向けライセンス販売及びエンジニアリングサービスの提供等は当社が継続して行います。

2. 当該事象が当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響

当期の連結業績に与える影響は、未実現利益の実現により181百万円となる見込みであります。